

○事業所名	合志市社協「スパーシアれんが」	○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日～1月23日	○保護者評価有効回答数	対象者：37名 回答者数：34名
○従業者評価実施期間	令和8年1月14日～1月23日	○従業者評価有効回答数	対象者：12名 回答者数：12名

○ 分析結果

	事業所の強み	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに強化・充実を図るための取組等
1	こどもや家族の夢や希望の実現に向けた個別支援の実践	<ul style="list-style-type: none"> こどもの権利擁護や合理的配慮の観点を踏まえ一人ひとりのニーズに応じた個別支援計画（わくわくシート）をこども版、保護者版とそれぞれに作成している。計画はこどもにもわかりやすいことを配慮し、保護者と共有して面談を通し意思決定（意思形成）支援に取り組んでいる。 安心して子育てに向き合える保護者サポートに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの権利擁護に関する理解を深めるため、職員研修を通じた継続的な学びの機会を確保する。 保護者のレスパイトニーズに対応するとともに、定期的な保護者会「親Café」「ようこそ先輩」「家族交流会」を行い、保護者同士のつながりやサポートを行う。
2	さまざまな専門職の連携と融合	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援の実践や活動プログラムの立案、各種ミーティング、質の向上に関する取り組みなどにおいて、多職種が混合したチームを形成し、専門性を活かしながら方向性の統一を目指したチームアプローチを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援においては、保育・療育・機能訓練・健康管理等の専門性を活かし、多職種連携による支援体制の一層の充実を図る。 発達支援の実践や質の向上に関する取り組みについて目標を設定し、PDCAサイクルを活用して業務を遂行する。
3	地域のこどもたちや住民、関係機関との協働による地域交流の展開	<ul style="list-style-type: none"> 運営母体である社会福祉協議会の強みを活かし、放課後児童クラブのこどもたち、地域住民、ボランティアの方々との交流プログラムを定期的実施し、広報誌等で保護者や地域に向けて情報発信を行っている。特に高校生ボランティアの受入れを始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流について、今後、中学生、高校生、大学生などのクラブ・サークルへの働きかけや、れんが卒業生がボランティアとしてつながり・かかわりあう取り組みを行いたい。

	今後の課題、改善項目	課題の分析（要因等）	改善に向けた今後の取組等
1	生活空間の構造化（視覚支援）	<ul style="list-style-type: none"> 障がい特性についての理解を深め、構造化（視覚支援）に関する具体的な事例を活用する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい特性や構造化に関する学習会を実施する。 PDCAサイクルを活用して、取り組んだ構造化について考察する。
2	支援の質の標準化	<ul style="list-style-type: none"> 職員間での支援の方法や対応を均一に保つ仕組みづくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ケース検討やミーティングを深め、チーム全体で意識して取り組んでいく。
3	家族・地域への情報発信と連携 各種マニュアル、安全計画等の保護者への周知	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容や取り組みについて、マニュアルや訓練等は実施しているものの保護者や地域に伝わっていない側面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 周知の回数を増やし、写真を活用する。 個別面談の際にマニュアルや取り組みについて説明する。 引き続き広報誌や公式LINEアカウントを通じて周知を行っている。